

表地 汚れたら洗える ■ 模様替えも簡単

カバーリング・ソファ

外せる魅力

布製ソファの表地を取り外しできるカバーリング・ソファが人気だ。座面や背当てのクッションのカバーだけでなく本体部分も取り外し可能。汚れが気になったらクリーニングできるほか、全く違う色や質感のカバーに替えて、模様替えも楽しめる。取り外し・取り付け作業に、スタッフが出向くサービスを行う家具店も出てきた。



ソファのすそ部分は面ファスナーでとめられている。「高級感のあるカバー地に人気が高まっています」(「アクタス新宿店」で)

モダン家具「クラスティーナ南町田店」(東京都町田市)のショールームには、布製のソファがずらりと並ぶ。そのほとん

どが、全面カバーリング商品だ。

昨年秋に発売した「ULTRIMA SOFA」は、1人掛けや3人掛けなど9タイプすべてが全面カバーリング商品。2・5人掛け(幅180cm)、9万9750円)や2人掛け(同160cm、9万3450円)が人気で、替えカバーは2・5人掛けが3万4500円、2人掛け2万7300円。

同店の山本優子さんは「これまで布製ソファは汚れたら、張り替えるか買い替えるかが普通だったが、最近はクリーニングに出して、使い続ける考え方が広がってきた。子どもやペットがいる家庭にも人気です」と話す。

輸入家具「アクタス新宿店」(同新宿区)でも、デンマーク、イタリアなどヨーロッパ製の布製ソファの大半がカバーリングタイプ。同店の池田景子さんによると、布製ソファを品定めする客の多くが、カバーの取り外しが可能かを確かめるそうだ。例えば、購入時にカラシ色の派手なカバー地を選んだ女性は、同時に替え用にベージュのカバーを注文したという。

「北欧製品を中心に生地の子ザインや質感、素材の良さが重視されており、日本でもソファ生地こだわりのつながっている」と池田さん。

* スタッフ派遣 着脱サービスも

ただ大きい家具だけに、取り外しや取り付け作業は手間がかかる。イタリア家具販売店「ダ・ドリアア青山」などを展開するヤマキワ(同千代田区)では、同社の店でソファを買った客を対象に、スタッフが訪問して取り外し・取り付け作業を行うサービスを有料で行っている。「角をきれいに、元通りに取り付け

るにはコツと力が必要。専門スタッフの派遣を希望する人は少ない」と同

「OZONE情報バンク」(同新宿区)のインテリアコーディネーター、堀内優子さんは「ソファの生地も洋服と同じで、繊維にほこりがつまったり汗や食べこぼしを放置したりすれば傷みやすい。定期的に洗うことで生地が長持ちし、ソファも長く楽しめます」と話している。